



NPO法人
**つくばアグリチャレンジ
ごきげんファーム**
農場長 **伊藤 文弥 氏**



ユニバーサル農業に
取り組んでいる方に
伺いました



これからユニバーサル農業を始められる方へ

私は、茨城県つくば市で障害のある人たちが働く農場「ごきげんファーム」を運営しています。私が21歳の時にこの事業を始めようと決めてから10年が経ちました。ごきげんファームは就労継続支援B型という福祉サービスを使っています。今は約100名の障害のある人たちと一緒に、有機野菜セットの配達、お米の栽培、平飼い自然養鶏、レストランなどの事業に取り組んでいます。

ユニバーサル農業の魅力はたくさんあります。そのうちの一つは、たくさんの方が参加できることです。障害のある

なしだけではもちろんなく、0歳から100歳までの方が同じことを楽しむことができます。いろんなバックグラウンドのある人たちが集まり、一緒に作業をすることができます。そういった繋がりの中で、お互いに学び合い、支えあっていくような関係性ができることが、少しずつ豊かな地域に繋がっていくんじゃないかと思っています。

もちろん大変なこともあります。私がさせてもらっているこの仕事は本当にやりがいがあります。農業の価値が最大限に感じられる地域を、障害のある人たちと一緒に作っていけるように頑張っていきます。

ら・い・さ・ま NEWS

本市にあらたなローカルメディアが誕生しました。令和元年12月20日(金)、地域FMラジオ局「FMゆうがお」の開局です。このラジオは下野市を中心にお手持ちのラジオやカーステレオでどなたでもお聴きいただけます。お聴きいただくには、次のような方法があります。

87.9
MHz

FM ゆうがお の 聴き方

①ラジオで聴く

お手持ちのラジオで聴くことができます。FM放送が受信できるラジオやコンポ、ステレオ(チューナー)、カーラジオなどで、周波数を87.9MHz(メガヘルツ)に合わせます。

②パソコンで聴く

FMゆうがおの公式ウェブサイト(<http://fmyugao879.jp>)にアクセス、表示に従ってクリックするとお聴きいただけます。

③スマートフォンで聴く

専用アプリ「FM++(エフエム プラプラ)」をインストールするとお聴きいただけます。

※詳細は広報しもつけ令和元年12月号を参照

知っていますか？

栃木県のとびやさい
まちづくり条例



適合証

栃木県では、平成11年10月14日に「ひとにやさしいまちづくり条例」を公布し、バリアフリー化の促進などを始めとする「ひとにやさしいまちづくり」の推進に取り組んでいます。条例に適合する建築物などに対して適合証を交付し、普及啓発に努めています。

●適合マークの意図●

男女の健康者と障害者が手をつなぎ、助け合っている様子を表す。白い線は地平線、お互いに男女も差別されない社会・地域の同じ位置に立っていることを表す。青い空は、澄んだ心とまるい地球をイメージ。(栃木県HPより引用)

下野市役所も適合証の交付をうけており、庁舎1階の展示コーナーに設置しています。

編集後記



共生社会とは障がいの有無に関わらず誰もが共に支え合う社会です。今回の取材を通じて感じたことですが、共生社会の実現を目指して、色々な立場で熱く取り組んでいる方々の話を聞かせていただき、共に生きるとは、人はそれぞれの存在そのものに価値があり、その人に合った役割があるのだと再認識し、自治基本条例の根本である市民参加にはこのことが含まれると気がされました。(SUWA)

【表紙】(福)はくつる会での計量結束前の作業風景